

福岡・マレーシア友好協会 議事録

議題	福岡・マレーシア友好協会 令和 6 年度 総会
開催日時	令和 6 年 6 月 5 日(水) 16:00～17:00
開催場所	リファレンス大博多ビル 11 階 1109 号会議室
報告者	事務局 神吉
会議内容	令和 5 年度事業報告、令和 6 年度計画案 等

会長挨拶

松永会長

本日はお忙しい中お集まりいただき誠にありがとうございます。
マレーシアは最近景気が良いようで、マレーシアへの投資もどんどん増えている。訪日客も大変増えているが、最近は福岡だけでなく、東京でもイスラム系の方の訪日客をたくさん見かけるようになった。そういった意味では、我々友好協会でもまだまだやれることはあるのではないかと考えている。今日の会計報告でも分かるように、予算的には厳しい部分もある。これからどのように運営していくのか、皆様のご意見も伺いながら考えていきたい。どうぞよろしくお願いします。

第 1 号議案：令和 5 年度 事業報告/収支決算報告

事務局

【令和 5 年度 事業報告】

資料番号(1) 第 1 号議案 令和 5 年度事業報告をご覧ください。
令和 5 年度の事業について、主な事業を一部抜粋した形でご報告させていただく。
令和 5 年度の理事会・総会は、コロナ禍が明け、3 年ぶりに対面にて開催し、前年度事業・決算報告、今年度の事業・予算計画の審議を行った。併せて、現行の体制を維持できるよう、正会員の中に特別法人という区分を新たに設けるという、会則の変更について審議を行った。
また、総会終了後には、マレーシア人留学生を招いた懇親会を行い、役員・会員の皆様と留学生の懇親を深めた。

10 月 25 日に、クアンティック天神にて、マレーシア独立記念を祝うナショナルデー祝賀会を行った。記念講演として、エムスタイルジャパン株式会社 代表取締役社長 稲富様に、「ツバメの巣で世界を変える」という演題で、講演をいただいた。

当日は、日本人 31 名、マレーシア人 46 名、合計 77 名の方々にご参加いただき、マレーシア都市開発庁からも 2 名ご参加を賜るなど、大変賑やかな会となり、在福マレーシア人の方々と、会員の皆様の交流の場となった。当日の様子を、資料①の裏面に記載している。
その他の事業については、記載の通りとなっているので、そちらも併せてご確認ください。

事務局

【令和 5 年度 決算報告】

資料番号(2) 令和 5 年度決算報告書をご覧ください。

こちらの資料内の令和 5 年度 決算額(B)と記載されている表の中央部分をご覧ください。
収入の部については、会費収入で 880,000 円、事業収入で 440,000 円、雑収入として 15,017 円、収入合計が 133 万 5,017 円となっている。

支出の部については、事業経費の会議費、関係団体助成費、情報化推進費、通信費、交通費、雑費は予算内に収まっている。

Ⅱ.管理費の ③印刷費については、当初 2 万円の予算を計上していたが、事務局業務を受託している NPO 法人 アジア太平洋こども会議・イン福岡 事務局の移転に伴い、新住所を記載した封筒を新しく作成する必要が発生したため、予算額に対して、約 4 万 8 千円の差額が

	<p>発生している。</p> <p>また、Ⅰ.事業費の②交流事業費が予算額 62 万 2,500 円に対して、83 万 5,731 円の決算となっている。10 月に開催したナショナルデー祝賀会の際、大変有難いことに 46 名の在福マレーシア人の方々にご参加いただいた。こちらを全てご招待としたが、これに対し日本人参加者の参加費が 29 万円で、ここで吸収しきれなかった分の差額の約 21 万円が赤字で計上されている。</p> <p>支出合計が、167 万 9,654 円、収支差額が、マイナス 34 万 4,637 円、次年度繰越金が、147 万 3,926 円となっている。</p> <p>次のページから順に、貸借対照表、財産目録の明細を添付しているので、併せてご確認ください。令和 5 年度 決算報告となる。</p>
松永会長	監事より、監査報告をお願いしたい。
草場監事	令和 5 年度の監査を 4 月 23 日に実施し、令和 5 年度収支決算書・貸借対照表及び財産目録等を監査した結果、いずれも正確かつ妥当なものと認めた。
松永会長	第 1 号議案「令和 5 年度事業報告ならびに収支決算報告」について、ご質問、ご異議はないか。
一同	異議なし。
松永会長	異議がないようなので、第 1 号議案「令和 5 年度事業報告ならびに収支決算報告」については、原案通りに可決・承認した。
第 2 号議案：令和 6 年度 事業計画(案)/収支予算(案)	
事務局	<p>【第 2 号議案 事業計画(案)】</p> <p>第 2 号議案①の令和 6 年度事業計画(案)をご覧ください。</p> <p>昨年の令和 5 年度より、全ての会議等が対面での開催となっているので、今年度も原則対面での開催となる。6 月に理事会・総会の開催、また正副会長会議を年数回、開催予定としている。</p> <p>毎年秋に開催している、マレーシアのナショナルデー祝賀会については、10 月 30 日・水曜日に、福岡市・博多区の八仙閣本店にて開催予定としている。こちらについては、詳細が決まりましたら、正式に皆様へご案内をさせていただきます。</p> <p>【第 2 号議案 収支予算(案)】</p> <p>資料番号④ の 令和 6 年度正味財産増減予算書(案)の左側、令和 6 年度予算額をご確認いただきたい。「</p> <p>収入の部は、会費収入、各種事業収入、また雑収入で 128 万 8,000 円の予算となっている。</p> <p>次に下の段の支出の部をご覧ください。</p> <p>事業費に関しましては、基本的に昨年度の実績額等を参考に作成した。事業費②の交流事業費に関しては、昨年度の決算額の内容を精査した結果、今年度の額を大きく見直している。支出の合計が 122 万 4,500 円。収支差額が 63,500 円、次年度繰越金が 153 万 7,427 円となっている。</p>
松永会長	第 2 号議案「令和 6 年度事業計画（案）/収支予算書（案）」について、ご質問、ご異議はないか。
西川理事	10 月のナショナルデー祝賀会を「八仙閣」で実施するという話だったが、食事のハラル対応はしていただけるのか？
事務局	予約の段階で、ハラル対応をしていただけることは確認済み。メニュー等の内容についても、今後会場と打ち合わせる予定としている。

松永会長	その他、ご質問・ご異議はないか？
一同	異議なし。
松永会長	ご異議がないようなので第 2 号議案「令和 6 年度事業計画（案）並びに収支予算書(案)」については、原案通りに可決・承認した。(案)の削除をお願いします。
第 3 号議案：役員の選任に関する事項	
事務局	<p>役員選任に関する事項について説明させていただく。 資料番号 5「役員の選任に関する事項」をご確認ください。</p> <p>※「役員の選任に関する事項」資料読み上げ※</p> <p>西日本新聞社・柴田様の退任理由は、「業務見直しに伴う、参画団体の縮小のため」となっている。 その他、役員の皆様には引き続きご留任いただくという形をとらせていただきたい。 令和 6 年度総会開催時点の役員・会員名簿を、本日配布した冊子の最後に添付しているので併せてご確認ください。</p>
松永会長	第 3 号議案「役員の選任に関する事項」につきまして、ご質問、ご異議はないか。
一同	異議なし。
松永会長	<p>ご異議がないようなので第 3 号議案「役員の選任に関する事項」につきまして、原案通りに可決・承認した。(案)の削除をお願いします</p> <p>本日ご新任の方々 3 名にご出席いただいているので、一言ご挨拶をお願いします。</p>
草場監事	<p>【新監事】草場 龍太郎様（株式会社 西日本シティ銀行） しっかり努めてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
田中顧問	<p>【新顧問】田中 徹様（一般社団法人 九州経済連合会・常務理事） 元々九州電力におりました際、理事として関わらせていただいていた。微力ながらお役に立てればと考えている、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
進藤顧問	<p>【新顧問】進藤 昭洋様（九州運輸局 観光部部長） 昨年の 7 月にこの職務を拝命し、九州各地を回り、見て、学んでいる最中である。インバウンドの拡大は国の政策の一丁目一番地である。インバウンド・アウトバウンドは車に例えると両輪であり、交流の拡大という意味では「直行便」の就航は極めて重要であると考えている。できる限り皆様のご期待に応えられるよう、九州運輸局を挙げてその他の政策にも取り組んでまいりたい。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
その他	
岩本副会長	<p>本日、オブザーバーとして九州大学よりピーンくん、また福岡の愛和外語学院よりアウィンさんが来られている。我々も「福岡・マレーシア友好協会」として福岡にお住まいのマレーシア人の方々を行事があるごとにお呼びして、親交を図ってこうと考えている。</p> <p>我々執行部メンバーは、いつも「何をしていったらよいか」ということを検討している。先ほども話が上がっていたが、まず 1 つ目は「直行便を出す運動をしたい」、そして 2 つ目が「インバウンドで来られた観光客の方がお祈りをするための「お祈りスペース」を作ることができないか」、こういったことも議論を進めている。</p>

	<p>また、昨日福岡商工会議所の田中様よりご連絡をいただき、直接会う機会を設けていただいた。この方は、マレーシア現地の商工会議所の事務局長として4年間赴任された後、最近福岡にお戻りになられた。田中様も、ぜひ福岡とマレーシアの発展のために協力したいとおっしゃっている。我々もいろいろなことに取り組んでいきたいと思っているので、皆様からのご協力をお願いいたします。また、冒頭に会長からお話があったが、会員数もかなり少なくなっている。こういう事業は人数がいないと難しい部分もあるので、皆様ぜひ新しい会員をご紹介いただきたい。現在50名ほどだが、これを100名程度まで持っていきたい。ぜひよろしくお願いいたします。</p>
廣瀬副会長	<p>オイスカでは、毎年海外から研修生が来日し、有機農業を学びながら日本の様々な文化を勉強してもらい、地域のリーダーとして育成するというプログラムを提供している。毎年夏には、日本から海外各地を視察するプログラムも実施しているが、今年度は8月16日より約1週間をかけて、「マレーシア・サバ州」を視察するツアーを予定している。首都・クアラルンプールのある州都は違い、サバ州は農業と観光業を中心とした地域で、そこにオイスカとサバ州の農村開発公社で協業しながら大きな研修センターを設けている。そちらにはたくさんの研修生もいる。また、サバ州だけでも、約100名以上のOBがおり、彼らの活躍や取り組みも視察していただける。現地の農業公社とも面会の予定があり、いろいろなビジネスのきっかけにもなるのではないかと考えている。サバ州自体も非常にいい場所であり、しかも安全な場所でもあるので、ぜひご検討いただければと思う。</p>
講演	<p>日本サンダイン株式会社 代表取締役 木村 政信様 「事業紹介とマレーシア進出の経緯、現地でのビジネスの現状について」</p>
事務局	<p>ありがとうございました。 以上をもちまして、令和6年度 福岡・マレーシア友好協会 総会を終了いたします。</p>